



## 教育センターだより

### 教育講演会



涙も笑いも、力になる —適切な感情の扱い方—

く院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なことく

講師 副島 賢和 先生

去る七月一日、さくやホールにおいて、富士河口湖町PTA連合会、

南都留郡PTA連合会、富士河口湖町の教育センター主催による教育講

演会が行われました。今年で四五回を数えます。当日は、町内外より

たくさんの方々が参加をいただきありがとうございました。

子どもたちが感情を表出することを通して、自分の中の感情を理解し、扱い方を

身につけるための大人のかかわりを一緒に考えたいという講演会でした。

この講演会後の138名のアンケートより、一部をご紹介します。

▼自分自身に余裕がなく悩む時がありますが、この講演で心が軽くなりました。

▼当たり前のことは当たり前ではなく、感謝できる気持ちになりました。

▼親の私達への応援歌にも聞こえるお言葉が心に響き、涙が止まりませんでした。

▼反抗期の子どもの親です。サインを見失わないように子育てしたいです。

▼「受容はする。許容はしない。」「ハッ」とすることがたくさんある時間でした。

▼今あること、幸せであることを一番大切に。それだけで十分だよと伝えたいです。

▼心を受け止めることの大切さ、感情を正しく人に伝える方法、感情のコントロール

の方法、子どもの自立のために何が必要かなど教えていただきました。先生の体

験談には涙が出てしまいました。夫や子どもにも聞かせたい内容でした。

ご講演にかかわる保護者からの質問だけでなく、終了後、個別に挨拶や相談に訪

れる方もいました。副島先生の時間の許す限りの丁寧な対応にも感謝です。



## 特別支援教育研究会



6月27日(火)中央公民館に於いて、特別支援教育研究会を行いました。

ふじざくら支援学校の菊池恵先生より「校内委員会をより機能させるために」つ

いてのご講義を、その後、大石小から「特別支援教育・校内支援について」、河口湖北中から「28年度の取り組みについて」の資料発表、そして、各学校の校内委員会の状況と情報交換を行いました。

アンケートには、菊池先生のご講義が分かりやすく、支援システム作りやチェックリスト活用を図り、共通理解と次年度へのつなぎをスムーズにし、より有効な支援をしていきたいという感想や、各学校のコーディネーターの役割や支援体制の情報交換ができ、安心につながったという意見が寄せられました。

